

みんなの日本語中級 I 第1課

1.

～てもらえませんか・～ていただけませんか
～てもらえないでしょうか・～ていただけないでしょうか

Vて形 + { もらえませんか／いただけませんか
 もらえないでしょうか／いただけないでしょうか

「～てもらえませんか・～ていただけませんか」用於說話人鄭重地向聽話人拜托某事。

- ① ちょっとペンを貸してもらえませんか。
能不能借一下你的筆？
- ② コピー機の使い方を教えていただけませんか。
請您教我影印機的使用方法。

参考 「～ていただけませんか（請求的禮貌表達）」：

- いい先生を紹介していただけませんか。 (『みんなの日本語初級II』第26課)
「～てもらえないでしょうか・～ていただけないでしょうか」比「～てもらえませんか・～ていただけませんか」給人留下更加禮貌，委婉的印象。
- ③ すみません、子どもが寝ているので、もう少し静かにしてもらえないでしょうか。
對不起，我孩子在睡覺，請稍微安靜一些好嗎？
 - ④ 申し訳ございませんが、子どもを預っていただけないでしょうか。
實在對不起，能不能幫我照看一下孩子？

2.

～のようだ・～のようない・～のように… (比喻、舉例)

Nの+ { ようだ
 ようない N
 ように V/い A/な A

「N₁はN₂のようだ」用於拿N₁的特點來比喻N₂的場合。
(比喻、舉例)。

- ①あの病院はホテルのようだ。
那間醫院像酒店一樣。
 - ②このお酒はジュースのようだ。
這酒像果汁一樣。
- 有時候用「N₂のようない N₁」的形式來修飾名詞。
- ③田中さんはホテルのようない病院に入院している。
田中先生住在像酒店的醫院裡。
 - ④わたしはジュースのようないお酒しか飲まない。
我只喝像果汁一樣的酒。

另外，也可以用「N₁はN₂のように」的形式，放在動詞和形容詞前面使用。

⑤ 田中さんが入院している病院はホテルのようきれいだ。
田中先生住的醫院像酒店一様漂亮。

⑥ このお酒はジュースのように甘い。
這酒像果汁一樣甜。

「N₂のようなN₁」也用N₂來舉例描述N₁的特徵。

⑦ 夫は、カレーのような簡単な料理しか作れません。
我丈夫只能做像咖喱那樣的簡單菜餚。

⑧ 「アポ」のような外來語は、外国人にはとても難しい。
「アポ」之類的外來語對外國人很難懂。

参考 「...ようだ（從某狀態得出的判斷）」：
人が大勢集まっていますね。

...事故のようですね。パトカーと救急車が来ていますよ。

(『みんなの日本語初級II』第47課)

3. ~ことは／が／を

V辭典形+こと+は／が／を

用「～こと」來實現名詞化。

① 朝早く起きることは健康にいい。
清晨早起有益健康。

② 田中さんは踊ることが好きです。
田中先生喜歡跳舞。

③ 優勝することを目指しています。
爭取奪冠。

参考 「V詞典形+ことができます／ことです」：

わたしはピアノを弾くことができます。

わたしの趣味は映画を見ることです。

(『みんなの日本語初級I』第18課)

4. ~を～と言う

N₁をN₂と言～う

把物品或事物N₁稱爲N₂。

① 1月1日を元日と言います。

把1月1日稱爲「元日」(元旦)。

② 正月に神社やお寺に行くことを初詣でと言～う。
把正月去神社或寺廟，稱爲「初詣」(初次參拜)。

5. ~とい～う～

N₁というN₂

本句型用於在會話或文章中提到的，聽話人可能不知道的事物或人物 N₁ 的時候。

N₁ 是姓名等專有名詞，N₂ 為普通名詞。

① 夏目漱石という 小説家を知っていますか。
你知道夏目漱石這位小說家嗎？

② 昨日、「スター・ウォーズ」という 映画を見ました。
昨天看了齣片名為《星球大戰》的電影。

6. いつ／どこ／何／だれ／どんなに～ても

Vて形
*い A → ～ → くて
*な A } + で } + も
N }

在「いつ」「どこ」「何」「だれ」「どんなに」等詞匯的後面使用「ても」，表示“無論甚麼場合，都……”。

① 世界 中 どこにいても 家族のことを忘れません。
在世界的任何地方，都不會忘記家人。

② 何度も聞いても同じことしか教えてくれない。
不管問多少次，他只重複同樣的回答。

③ だれが何と言っても 考えを変えません。
無論是誰，無論說甚麼，我的想法不變。

④ どんなに高くても 買いたいです。
無論多貴，我也想買。

若是名詞的時候，採用「どんな N でも」「どの N でも」「どんなに～N でも」的形式。

⑤ どんな人でも 優しい心を持つてはいるはずだ。
無論是甚麼樣的人，也該有顆溫柔的心。

⑥ 正月になると、どの神社でも人がいっぱいだ。
一到新年，無論哪間神社都擠滿人。

⑦ どんなに丈夫なかばんでも長く使えば、壊れてしまうこともある。
無論怎樣結實的提包，若長期使用都會壞。

参考 「～ても（逆接）」：いくら 考えても、わかりません。

（『みんなの日本語初級 I』第 25 課）

話す・聞く

～じゃなくて、～

「N₁ じゃなくて、N₂」用於否定 N₁，用 N₂代之。

- ① これはペンじゃなくて、チョコレートです。食べられますよ。
這不是鋼筆，是巧克力，能吃的。

② 京都ではお寺を見ましょうか。
…お寺じゃなくて、若い人が行くようなくぎやかなところに行きたいです。
我們在京都去看寺廟吧。
…我不想去寺廟，想逛年輕人去的那種熱鬧的地方。

よ か 読む・書く

…のだ・…のではない

V } 普通形
 い A }
 *な A } 普通形
 *N } — だ → な } + { のだ
 *のではない

在強調由某種原因產生的結果或由某種依據而得出的判斷時，用「…のです」的形式。

- ① じ ひ こうき の いそ
3時の飛行機に乗らなければなりません。それで、わたしは急いでいるのです。
必須乘坐 3 時的飛機，所以，我現在很急。
(理由／依據) (だから／それで) (結果／判断)

②かれ にほん りゅうがく にほんご べんきょう
彼は日本に留学します。それで日本語を勉強しているのです。
他要去日本留學，所以，在學習日語。

「…のではない」用於否定謂語以外成分。例如：在③句子中，否定的是「ひとり」而不是謂語「書いた」。

- ③ このレポートは一人で書いたのではありません。
這份報告不是一個人寫的。

cf. ×このレポートは一人で書きませんでした。

なんにん なんかい なんまい
何人も・何回も・何枚も…

「何土助數詞（人、回、枚…）とも」強調數量之多。

- ① マンションの前にパトカーが何台も止まっています。
公寓前面停放了好幾輛警車。